

教育委員会の権限に属する事務の管理 及び執行の状況の点検及び評価報告書

(花巻市教育振興基本計画平成30年度主要事業実施状況報告書)

令和元年8月

花巻市教育委員会

【 目 次 】

I	平成30年度主要事業の実施状況について	1
II	主要事業（施策別）	
1	子育て環境の充実	
(1)	子育て支援の充実	2
(2)	家庭教育力の向上	3
(3)	就学前教育の充実	3
2	学校教育の充実	
(1)	学力の向上	5
(2)	体力の向上	6
(3)	豊かな人間性の育成	6
(4)	個に応じた支援体制の充実	6
(5)	学校保健の充実	6
(6)	教育環境の充実	7
3	芸術文化の振興	
(1)	芸術文化活動の推進	10
(2)	民俗芸能の伝承	10
(4)	文化財の保護と活用	10
III	資料	
	施設利用状況等について	12

平成 30 年度主要事業の実施状況について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条各項の規定により、教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表しなければならないこととされており、また、点検・評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされています。

このことから、花巻市教育振興基本計画の主要事業（教育委員会の権限に属する事業）について、花巻市教育振興審議会において事業の成果と進捗状況等の評価を行い、国等の教育施策をはじめ本市教育を取り巻く地域社会・環境の変化等を見極めながら、事務事業の見直し及び新規施策の事業化により次年度以降の取り組みに反映させるよう努めるものとします。

※地方教育行政の組織及び運営に関する法律（平成 30 年 6 月 8 日一部改正）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

1. 子育て環境の充実

【基本方針】「子育てに喜びを感じ、安心して健やかな成長を育むまち」

【子育て支援の充実】

子育て家庭を支援するため、親子が気軽に集い遊べる「ひろば」の開設やミニ講座を実施し、親のリフレッシュや学びの機会を提供した。また、地域子育て支援情報ネットワーク交流会を開催し、支援団体等と研修や情報交換を通して、昨今の子育ての状況を共有することができた。

多子世帯の経済的負担を軽減するため、18歳以下の最年長者を第1子とする第3子以降の保育料負担軽減事業を実施した。

児童の健全育成のため、放課後や長期休暇中の居場所づくりとして、学童クラブ運営について支援した。

【保育・教育環境の充実】

子育て家庭を支援するため、地域子育て支援センターを開所し、子育ての相談や保護者の交流、子育て支援団体間の情報交換会などを実施し、地域における子育て支援に努めた。また、病後児保育室を開設し、安心して子育てできる環境整備に努めた。

【家庭の教育力の向上】

就学前教育振興会議を開催し、関係者から意見・提言をいただくとともに、子育て講演会の開催や「ニコニコガイド」の発行により情報提供を行った。また、基本的な生活習慣を身に付けるため「家族でニコニコチャレンジ」に継続して取り組むとともに、保護者が園で保育士体験を行う「ニコニコせんせい体験」を実施して家庭の教育力の向上の支援に努めた。

【就学前保育・教育の充実】

本市の目指す子どもの姿「元気な子ども」「やさしい子ども」「考える子ども」を育成するため、就学前教育推進計画に基づき「はなまき保幼一体研修」を実施し、職員の資質向上に努めた。また、「花巻市アプローチカリキュラム」と「花巻市スタートカリキュラム」の周知・実践により保幼小連携を図るとともに、小規模園同士で「ニコニコ交流事業」を実施し、年長児への集団指導を通じて小学校へのスムーズな接続に努めた。

(1) 子育て支援の充実

(単位：千円)

No.	事業名	事業概要	予算額	決算額	担当
1	地域子育て支援センター事業	地域子育て支援拠点として、就学前の子育て家庭に広場を開設し、親子の相互の交流や子育て相談、子育てに関する講座や情報提供を行った。 市内6か所設置 直営3か所(こどもセンター、宮野目保育園内、大迫保育園内) 委託3か所(若葉保育園内、石鳥谷保育園内、土沢保育園内)	43,203	42,802	こども課
2	子育て支援情報ネットワーク事業	地域子育て支援拠点である「こどもセンター」において、地域の子育て支援活動団体、子育て支援関係者等との情報交換や地域子育て支援センター事業と連携し、研修の開催及び応援型地域子育て支援事業等の地域支援を行った。	30	25	こども課
3	放課後子供教室・学童クラブ	児童の健全育成を図るため、児童の放課後をはじめとした安全安心な居場所づくりと地域との交流を促進した。	262,732	224,309	こども課
4	第3子以降保育料等負担軽減事業(拡充)	安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを推進するため、保育料負担を軽減した。	56,583	53,501	こども課
5	病後児保育事業	傷病の回復期にある児童で保護者の都合により家庭で保育困難な児童の一時的な保育を行った。	11,322	10,874	こども課

(2) 家庭教育力の向上

(単位：千円)

No.	事業名	事業概要	予算額	決算額	担当
1	家庭教育力向上事業 (保護者への意識啓発)	教育の原点である家庭の教育力向上のため、市内保育園・幼稚園・認定こども園・小学校、保護者、行政の代表者による就学前教育振興会議で課題を共有しながら、情報提供等を行った。 ○就学前教育振興会議開催 ○家庭の教育力を高めるための情報提供 ○家族でニコニコチャレンジ実施 ○ニコニコせんせい体験の実施(保護者の保育士体験)	466	436	こども課
2	家庭教育力向上事業 (保幼小の連続性を考慮した保育・教育の推進)	保育園・幼稚園・認定こども園から小学校へと繋がる子どもの発達や学びの連続性を考慮し、人と関わる力や、道徳心、豊かな感性を培う保育・教育が展開されるよう研修会等を開催した。	180	16	こども課

(3) 就学前教育の充実

No.	事業名	事業概要	予算額	決算額	担当
1	はなまき保幼一体研修事業	市内保育園、幼稚園、認定こども園の職員が連携して子どもの発達や学びの連続性を考慮した保育・教育のあり方についての合同研修を実施した。 ○公開保育研修の開催 ○市内保育園・幼稚園等園内研究発表会 ○市内保育園・幼稚園等職員研修 ○保幼小連携研修	274	61	こども課
2	幼稚園教育環境充実事業	快適な教育環境を維持するため、公立幼稚園の施設について計画的に改修及び補修を行った。また、私学の運営補助及び保護者の経済的負担を軽減し、市内の幼児教育の充実を図った。 ○私立幼稚園就園奨励事業 ○私立幼稚園運営費、預かり保育事業費一部補助 6園 ○市立幼稚園維持修繕 床改修1園、遊具改良1園	95,237	89,589	こども課
3	保育所保育環境充実事業	快適な保育環境を維持するため、公立保育所の施設について計画的に改修及び補修を行った。 ・環境整備 屋根改修、遊具移設等 ・安全整備 屋外遊具補修 9園 ・備品購入 暖房機、冷房機、屋外遊具更新等 ・公立保育園増築 西公園保育園(新規)	70,469	70,091	こども課
4	幼児ことばの教室事業	就学前のことばの発達に遅れ等の見られる幼児の早期発見及び指導により、幼児期から小学校入学後にわたる一貫した言語指導を行った。 ○幼児ことばの教室の運営 ・ことばの検査・対象幼児及び保護者への指導 ・保護者からの相談への対応 ・幼児ことばの教室の周知	7,334	7,226	こども課
5	こども発達相談センター整備事業(繰越)	こども発達相談センターの駐車場整備を行った。	10,628	10,263	こども課

No.	事業名	事業概要	予算額	決算額	担当
6	公立保育園再編事業	地域ごとの保育需要の偏在や多様な保育ニーズに対応するとともに、市の人材や財源を適切に配置して質の高い保育を継続的に提供するため、公立保育園の再編を推進した。 ・笹間保育園の移管先事業者の選定	108	43	こども課
7	幼稚園教育指導充実事業	平成30年度の幼稚園教育要領改訂を見据え、改訂のポイントについて理解を深め、教育課程の見直しを行うため、花巻幼稚園が教育研究課程指定校の指定を受けてH29～H30年度の2か年にわたり、研究を行った。	312	252	こども課

【成果指針】・・・まちづくり市民アンケート(現状値＝平成27年度結果)

	現状値	30年度	令和元年度 (実績値)	2年度 (計画目標値)
子育てしやすいまちと感じる市民の割合	55.7%	58.3%	62.5%	63.0%

1. 子育て環境の充実についての評価

安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを推進するため、待機児童の解消を最優先に取り組み、民間保育施設整備への補助や公立保育園の増築による利用定員の増加を図ったほか、県内保育士養成学校の学生を対象とした市内保育施設の見学・体験バスツアーの対象学校の拡大や、私立保育所等に勤務する保育士等の家賃補助及び奨学金返済支援補助を新たに実施するなど、保育士等の確保に努めた。その結果、平成29年度に最大96人あった待機児童が、平成30年度は最大88人と減少に転じ、事業実施による効果が表れてきている。

また、保護者が抱える育児に関するさまざまな不安を解消するため、病後児保育室の運営のほか、地域子育て支援センターでの育児相談及び地域子育て支援情報ネットワーク研修会を前年度に引き続き実施した。このうち病後児保育室については、延べ156人の利用があり、保護者のニーズに対応した取り組みとなった。

さらに、市の独自事業として実施している第3子以降保育料等負担軽減事業については、対象を18歳以下の最年長者を第1子と数えることに拡充し、多子世帯の経済的な負担軽減を図るなど、子育て環境の充実に向けた各種の事業を実施したことが成果指標の向上につながったものと考えられる。

2. 学校教育の充実

【基本方針】「子どもたちが、夢と希望を持ち、たくましく、いきいきと育つまち」

【児童生徒の学力・体力向上】

「花巻市学力向上アクションプラン」に基づき、学力向上支援員の配置による学力調査等の結果分析を行うとともに、その結果に基づき各校の取組を支援したほか、外部講師招へいによる教職員の「授業力」の向上や、「はなまき授業サポーター」及び「中学サポーター」の配置による児童生徒へのきめ細やかな指導を行い、一人ひとりの実態に応じた指導の充実を図った。

小学校では新たに3・4年生の外国語活動が開始されたことから、ALTを2名増員するとともに学校を巡回してALTとのコーディネートや教材についての助言を行う外国語教育支援員を配置し、外国語活動の充実を努めた。

体力の向上のため、体力向上実践校における基礎体力向上への取り組みを支援し、児童の運動への意識の向上を図った。

【豊かな人間性の育成】

児童生徒の豊かな人間性・社会性を育むため、体験活動や地域学習活動を実施したほか、学校における復興教育への取り組みを支援し、復興・発展を支える児童生徒の育成に努めた。また、「花巻市いじめ防止等のための基本的な方針」に基づき「花巻市いじめ問題対策連絡協議会」を開催し、関係機関との連携を図るとともに、各学校では6月の「いじめを考える日」に児童会や生徒会が主体となっていじめをなくすための取り組みを実践した。

【特別支援体制の充実】

学校不適応児童生徒のため、生徒支援員や教育相談員を配置し、教育相談や適応指導を行うとともに、特別な指導・支援を要する児童生徒へのきめ細やかな指導のため、ふれあい共育推進員を配置し、児童生徒が豊かな学校生活を送ることができるよう、子ども心に寄り添うように努めた。

(1) 学力の向上

(単位：千円)

No.	事業名	事業概要	予算額	決算額	担当
1	学力向上推進事業	児童生徒の学力向上のため、きめ細やかな指導充実と教員の資質向上に努めた。 ○学力向上支援員配置 教育委員会に1人。各校の学力向上の取り組みを支援 ○はなまき授業サポーター配置 30人を超える学級を有する小学校6校に8人 ○中学サポーター配置 30人を超える学級を有する中学校4校に4人 ○授業力向上支援 外部講師による模範授業・講義の実施 小学校(外国語活動)中学校(数学) ○学習定着ワーク 中学2年生にアクションシート(国語・数学)を配布し、学校における補充指導支援 ○到達度学力検査 小学3、4年生及び中学1年生に実施	17,713	17,139	学校教育課
2	まなび交流学習事業	児童の発達段階に応じた学びの場の提供のため、複式学級に在籍する児童に対し、実技教科の適切な集団指導が経験できる環境を提供した。 ○小規模校と中規模校間で音楽、体育、総合的な学習の時間等で行う交流学習を支援 ・笹間第一小学校と笹間第二小学校 4回 ・大迫小学校と内川目小学校、亀ヶ森小学校4回	230	71	学校教育課
3	指導運営費	教育研究所を設置し、学校教育上の課題解決や教職員の資質向上等に関する専門的・技術的事項の調査研究や研究・研修を推進し、本市の教育水準の向上を図った。	9,712	9,113	学校教育課
4	教科用図書採択事業	教科用図書の採択に伴う事務費等に係る負担金を支出した。教師用教科書及び指導書を購入・配布することにより、円滑な教科用図書の更新を行った。 ○中学校道徳教科用図書の採択 ○小学校道徳の教師用教科書及び指導書購入	4,347	4,322	学校教育課

(2) 体力の向上

No.	事業名	事業概要	予算額	決算額	担当
1	体力向上実践推進事業	児童生徒の基礎体力の向上のため、実践校を指定し取組みを支援した。	225	123	学校教育課
2	小中学校スポーツ振興事業	児童生徒のスポーツ活動の振興・発展のための事業を支援した。	3,650	3,650	学校教育課

(3) 豊かな人間性の育成

No.	事業名	事業概要	予算額	決算額	担当
1	児童・生徒表彰事業	知・徳・体のバランスのとれた児童生徒の育成のため、体育・文化等の活動において、顕著な成果を収めた児童生徒を表彰した。 ・児童生徒栄誉賞 175人と32団体	936	186	学校教育課
2	キャリア学習支援事業(新規)	児童生徒の生きる力を育成するため、市内外における各種活動を支援した。 ○体験的な学習の充実 ○生徒会ボランティア活動支援	7,037	6,592	学校教育課
3	小学校外国語教育推進事業(拡充)	令和2年度からの小学校5・6年生の外国語教科化に対応するため、3・4年生の各学級で年間8時間、5・6年生の各学級で年間25時間、英語を母国語とする外国人による英語指導を行った。	21,072	20,779	学校教育課
4	中学校外国語教育推進事業	生徒の語学力の向上と国際理解、国際感覚の育成のため、外国人講師を活用した異文化に触れる授業を行った。(1クラス当たり年12時間) ・各学校で実施する英語検定の受検手数料の全額(年1回分)を助成 ・英語検定問題集を購入して各学校に配架(新規)	19,556	18,699	学校教育課

(4) 個に合わせた支援体制の充実

No.	事業名	事業概要	予算額	決算額	担当
1	特別支援事業	特別な支援を必要とする児童生徒に対する生活・学習支援や、不登校・不登校傾向にある児童生徒への登校支援を行った。 ・ふれあい共育推進員の配置 小学校19校・中学校11校へ49名 ・障がいのある児童生徒への教育支援体制推進 ・学校適応支援 教育相談員5名、生徒支援員5名、スクールソーシャルワーカー2名配置(拡充) ・ことばの教室巡回指導の実施	66,513	64,925	学校教育課

(5) 学校保健の充実

No.	事業名	事業概要	予算額	決算額	担当
1	学校保健事業	児童生徒の体力向上のため、身体の健全な育成に努めた。 ・学校保健管理 学校医等の確保、検診の実施 ・花巻市学校保健会へ補助金交付	65,906	63,569	学務管理課

(6) 教育環境の充実

No.	事業名	事業概要	予算額	決算額	担当
1	小中学校学区再編成等調査事業	児童生徒の減少等、現状を把握していただくため、資料「児童生徒数の推移と今後の見通し」を市議会議員、小中学校長及びPTA会長に提供して将来的な教育環境のあり方について市民とともに考える機運を醸成した。 また、花巻市立小中学校における適正規模・適正配置に関する基本方針(案)を作成し、PTA等保護者、地域関係者を対象とした説明会を11会場で、出前学習会を12会場で実施したほか、保育教育環境検討会議、教育振興審議会を開催し、意見を伺った。	150	114	教育企画課
2	私立高校振興事業	私立高校の経営健全化及び教育環境整備充実のため、補助を行った。	3,240	3,240	教育企画課
3	県立大迫高等学校生徒確保対策協議会事業補助金	大迫高校の存続に取り組む団体(同窓会・PTA・地域住民・各種団体で構成)を財政面で支援するとともに、大迫総合支所と連携し団体の活動をサポートし、新たに留学生の募集を行い、1名の応募があった。	1,064	960	教育企画課
4	小学校施設維持事業	良好な学習環境と安全・安心な学校運営のため、施設の維持管理・長寿命化を図った。 ・施設修繕 ・器具設置等業務 ・病害虫防除業務 ・校舎等維持補修工事及び設計業務	121,501	112,608 (うちH29 繰越 24,115)	教育企画課
5	中学校施設維持事業	良好な学習環境と安全・安心な学校運営のため、施設の維持管理・長寿命化を図った。 ・施設修繕 ・設備更新等業務 ・病害虫防除業務 ・校舎等維持補修工事及び設計業務	62,831	57,156 (うちH29 繰越 26,773)	教育企画課
6	大迫中学校校舎改築事業	老朽化した大迫中学校校舎の安全確保のため、学校の適正規模を見通した上で、改築整備を行った。 ・屋内運動場改築工事・工事監理業務 ・クラブハウス改築工事・工事監理業務 ・学校、体育備品整備	309,491	308,533 (うちH29 繰越 232,089)	教育企画課
7	学校安全確保事業	児童生徒の登下校中の安全確保のため、学校安全体制に関わる組織を構築し、より効果的な安全指導や見守り活動を展開した。 ・小中学校の巡回への指導 210回 ・スクールガード養成講習会実施 6回	480	479	学校教育課
8	育英事業	向学心旺盛な優秀な学生で、経済的理由により就学が困難な学生に対して学資の貸与を行った。	3,170	1,513	学務管理課
9	学校給食施設基本方針策定事業	花巻市の学校給食施設をはじめとした学校給食の現状と課題を整理し、今後の学校給食のあり方について基本方針の策定に向け、情報収集を行った。	0	0	学務管理課 学校給食管理室

No.	事業名	事業概要	予算額	決算額	担当
10	奨学金活用人材確保支援事業	市奨学金の返還者に対して返還金の半額を補助することにより、人材の確保に努めた。 ・市内保育園で勤務する保育士に返還金の半額補助 ・市内大学を卒業後に市内に居住している者に返還金の半額補助	565	416	学務管理課
11	学校地域連携推進事業	学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てるため、家庭・地域との連携による学校経営の推進指定校を選定し、活動を支援した。 ・運営委員会の設置 ・3つの小・中学校区に地域コーディネーターを配置し、地域と学校の連携・協働による学校支援活動を実施	2,660	2,660	学校教育課
12	小中連携推進事業	中一ギャップの解消と9年間を見越した学力向上を図るために、小学校と中学校との連携による小中連携教育の推進指定校を選定し、活動を支援した。	113	84	学校教育課
13	学校図書館支援事業	学校図書館の充実を図るため、市内各学校における学校図書館の取り組みを支援する学校図書館支援員を配置した。	2,547	2,408	学校教育課
14	小中学校学情報ネットワーク強化事業(新規)	学校における情報セキュリティ対策を向上させ、情報漏えい等のリスクから児童生徒及び教職員を守るため、ネットワーク環境の再構築を行った。	54,520	39,995	教育企画課

【成果指針】・・・岩手県学習定着度状況調査(現状値＝平成26年度)

		現状値	29年度	30年度 (実績値)	2年度 (計画目標値)
将来の夢や就きたい仕事など具体的な目標もっている児童生徒の割合	(小)	85%	88%	89%	85%
	(中)	69%	76%	71%	75%
運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	(小)	84%	94%	93%	85%
	(中)	82%	86%	83%	85%
自分にはよいところがあると思っている児童生徒の割合	(小)	78%	79%	78%	80%
	(中)	66%	76%	71%	70%
児童生徒の学力の定着状況 (県平均＝100)	(小)	105	101	101	105
	(中)	99	100	98	105

2. 学校教育の充実についての評価

学力向上については、平成30年度岩手県学習定着度状況調査の結果によると、小学校では社会と算数が県平均を1%上回り、国語と理科は同等で、全教科でおおむね好ましい状況であった。中学校は、国語が県と同等のほかは、社会が2%、数学が3%、理科が1%、英語が1%、いずれも県平均を下回った。中学校の学力が低い状況にある原因として、家庭学習の時間が少ないことが考えられ、クラブ活動時間やメディアに触れる時間の適正化を図ること等により、家庭学習時間を確保し、授業の質の向上との両輪による学力向上を図ることが必要である。

体力向上については、平成30年度から新たな実践校を3校指定して取り組んだ結果、全ての実践校で「運動することが好き」と答えた児童の割合が上昇し、短・長距離走の記録が向上したことから、今後も体力・運動能力に課題を抱える児童が多い学校に重点的に取り組んでいくことが望ましい。

学校適応支援については、教育相談員、生徒支援員及びスクールソーシャルワーカーを配置して学校生活に課題がある児童生徒に対応したが、不登校出現率が国・県同様に上昇しており早い時点で欠席を長引かせない対応が重要であることから、今後も学校及び関係機関と連携して取り組む必要がある。

教育環境については、児童生徒の減少等、教育環境の変化に対応するため花巻市立小中学校における適正規模・適正配置(案)を作成し、地域での説明会、出前学習会を開催したほか、有識者から意見を聴取した。結果については、基本方針案に反対という意見はなかったが、実際に学校統合の検討を行う際には慎重に進めて欲しいとの声があったことから、今後において協議を行う場合は留意する。

花巻市奨学金については、平成28年度以降の貸与者に対し、成績要件を廃止し、併せて入学一時金の新設を行ったことにより、概ね募集人数を満たす貸与者となっており、住民のニーズに合った制度になっていると考える。花巻市奨学金を活用した「ふるさと保育士確保事業」及び「ふるさと奨学生定着事業」は、事業開始から3年が経過したものの、保育人材の確保や定住の成果として充分とはいえない状況にあることから、更なる制度周知に努めるほか、他の制度との連携を図りながら充実した制度を構築する必要がある。また、返還免除型奨学金「はなまき夢応援奨学金」は、貸与者が当初に見込んだ人数を下回る状態が続いていることから、貸与条件の緩和に向けた見直しを行う。

豊かな学びの実現のため、地域人材を活用した多様な授業の実施や、学校図書館の読書環境の向上、児童生徒・教師・PTAが相互につながる小中連携の取り組み等を行った。県学習定着度状況調査で「学校に行くのが楽しい」と答えた児童生徒の割合は県平均並みであったが、「自分にはよいところがある」、「将来の夢や目標を持っている」と答えた中学生の割合がいずれも県平均を下回ったため、中学校での体験的な学習やキャリア教育の充実に努めていくことが必要である。

5 芸術文化の振興

【基本方針】「市民が、地域の歴史や文化、先人に誇りを持ち、芸術文化に親しまち」

【文化財の保護と活用】

市内にある文化財を保護し地域の振興を図るため、新たに「花巻まつり」を市指定無形民俗文化財とした。また、遺跡保護の周知や開発行為に伴う発掘調査に加え、花巻城本丸跡の内容確認調査を実施したほか、文化財に関する理解と愛護の意識を高めるため、セミナーや講演会の開催、説明板や遺跡標柱の設置等を行った。

博物館においては、日本を代表する写真家が捉えた、昭和の子どもたちの姿を紹介し、激動の昭和を振り返った。さらに花巻市内には1000箇所の遺跡があることを紹介し、市民が歴史や文化財に親しみ、理解を深めることに寄与した。また、共同企画展において、笹間出身のキリスト教活動家の斎藤宗次郎の日記から、近世の花巻の様子や宗次郎の人となりを紹介し、先人顕彰に努めた。話題性のある体験学習や出前講座を開催し、多くの市民が花巻の歴史や文化への知識を深めることとあわせ、地域におけるその担い手となるよう学習内容の充実と機会の提供に努めた。

【民俗芸能の伝承支援】

ユネスコ無形文化遺産「早池峰神楽」をはじめとする市内各地域に古くから伝承されてきた民俗芸能の保存と活動を紹介するため、郷土芸能鑑賞会や青少年郷土芸能フェスティバルなど各種の鑑賞会事業を開催し、伝承活動や後継者育成の支援に努めた。

(1) 芸術文化活動の推進

No.	事業名	事業概要	予算額	決算額	担当
1	学校文化活動事業	児童生徒の豊かな情操を養うため、市内小中学校文化活動を支援した。 ・花巻市中学校文化連盟事業への補助 ・市内小中学校文化部等の大会出場経費の一部補助	560	491	学校教育課

(2) 民俗芸能の伝承

No.	事業名	事業概要	予算額	決算額	担当
1	民俗芸能伝承支援事業	地域の財産である郷土芸能を後世に引き継いでいくため、鑑賞会等を開催し、伝承活動成果の発表の場を提供するとともに、ホームページ等を活用して、民俗文化財の公演・公開に関する情報を提供し、普及啓発と後継者育成を支援した。 ○郷土芸能鑑賞会開催 早池峰岳神楽公演、花巻市郷土芸能鑑賞会、古民家活用郷土芸能鑑賞会、花巻市青少年郷土芸能フェスティバル2018 ○全国民俗芸能保存振興市町村連盟に加盟	2,339	2,282	文化財課

(4) 文化財の保護と活用

No.	事業名	事業概要	予算額	決算額	担当
1	文化財保護活用事業	文化財を価値あるものとして、後世に伝え保護していくため、文化財の管理・修繕・補助等を行った。また、市民への周知を図るため、説明板の設置やセミナー等を開催するとともに、文化財の活用を図った。 ○文化財の調査と指定、文化財の修復補助 ○文化財セミナー及び早池峰自然観察会開催3回	23,746	20,569	文化財課

No.	事業名	事業概要	予算額	決算額	担当
2	埋蔵文化財保護活用事業	貴重な歴史遺産である埋蔵文化財を適切に保護するため、遺跡の調査等を行うとともに、花巻城跡の内容確認調査を行った。また、遺跡に対する市民の興味関心を高めるため、講演会の開催等、埋蔵文化財の活用を図った。 ○埋蔵文化財の保護 花巻城本丸跡の遺跡内容確認調査 ○埋蔵文化財講演会の実施、総合文化財センターにおける展示公開ほか	34,659	23,585	文化財課
3	展示活動事業	展示会の開催により市民が普段目にすることがない歴史的資料や美術作品を紹介し、郷土の歴史や文化財への興味と関心を高めた。 ○特別展1回 写真家が捉えた昭和のこども ○テーマ展3回 花巻の遺跡、花巻人形ほか ○共同企画展1回 斎藤宗次郎	12,259	11,703	博物館
4	教育普及活動事業	市内小中学校の児童生徒に博物館での学習を通じて、ふるさとの歴史文化への興味と関心を深め郷土を愛する心を養うよう努めた。 ○教育普及活動 館長講座3回、博物館講座18回、体験学習19回、出前講座36回、博物館学校教育連携研究委員会開催3回、広報誌発行12回	2,180	2,004	博物館

【成果指針】・・・まちづくり市民アンケート(現状値＝平成27年度結果)

	現状値	30年度	令和元年度 (実績値)	2年度 (計画目標値)
郷土の歴史・文化に対する誇りや愛着を持つ市民の割合	62.5%	67.3%	68.8%	65.0%

5. 芸術文化の振興についての評価

民俗芸能の伝承については、活動の維持、保存を図るため、各種の鑑賞会事業を開催しており、入場者数目標である1,800人を大きく上回る2,180名(前年度1,880名)の入場者数となった。地域と芸能団体が一体となり、後継者の育成並びに伝承活動が確保されるとともに、観光振興や地域の活性化にも一定の成果があった。

文化財の保護と活用については、「花巻まつり」を新たに市指定無形民俗文化財とし、文化財の保護と地域振興を図った。また、花巻城をはじめとする地域の歴史や文化への関心が高まる中、文化財セミナーや早池峰自然観察会、埋蔵文化財講演会等を実施し、文化財に対する市民の認知や保護にかかる理解の向上に寄与した。

今後も花巻の文化財について広く情報発信することで、市民の文化財に関する理解と愛護精神の向上に取り組んでいく。

博物館の入館者数については、平成29年度と比較して4,000人超増加した。これは、特別展を開催したことやそれに伴う多彩な関連事業、岩手県交通の利用拡大を図るため、土沢線の利用客については博物館入館料を無料とするサービスを実施したことや、雑祭りの時期の観光客の増加が要因と考えられる。

各種講座やセミナーについては、調査研究テーマのわかりやすい説明や、外部講師による講演等が好評を得ており、参加者も年々増加傾向にある。

また、市内各小中学校での出前授業や見学学習を行う学校が増えているが、これは、学芸員が各校の担当教諭と連携を密に図りながら、すべての学校が共通で学べるものに加え、それぞれの学校の地域特性を盛り込んだ内容としたことで興味や関心を高めたことなど、博物館資料を活用した学習メニューの充実を図ったことが要因と考えている。

今後については、特色ある企画展の開催や関連事業により、楽しさあふれる場を提供するとともに、博学連携の取組の強化によりさらなる魅力アップに努め、郷土の歴史・文化に対する誇りや愛着を持つ市民の割合を高めていきたい。

学校開放事業

(単位：回、人)

学校名	平成29年度		平成30年度		比較増減		
	開放回数	利用者数	開放回数	利用者数	開放回数	利用者数	
小学校	花巻小学校	1,338	22,868	811	19,695	△ 527	△ 3,173
	若葉小学校	527	21,524	496	23,325	△ 31	1,801
	桜台小学校	338	11,021	281	10,309	△ 57	△ 712
	南城小学校	549	11,170	596	12,090	47	920
	湯口小学校	443	13,633	460	12,737	17	△ 896
	湯本小学校	404	10,746	378	8,852	△ 26	△ 1,894
	矢沢小学校	294	7,485	368	10,353	74	2,868
	宮野目小学校	258	10,010	236	9,347	△ 22	△ 663
	太田小学校	204	2,491	190	2,792	△ 14	301
	笹間第一小学校	287	7,593	259	7,777	△ 28	184
	笹間第二小学校	39	513	55	810	16	297
	大迫小学校	301	3,789	298	4,486	△ 3	697
	内川目小学校	0	0	0	0	0	0
	亀ヶ森小学校	4	565	7	627	3	62
	石鳥谷小学校	354	11,114	386	10,766	32	△ 348
	新堀小学校	490	12,504	530	15,804	40	3,300
	八幡小学校	186	3,685	177	3,947	△ 9	262
	八重畑小学校	253	7,348	258	7,638	5	290
	東和小学校	556	15,048	505	13,861	△ 51	△ 1,187
	小計	6,825	173,107	6,291	175,216	△ 534	2,109
中学校	花巻中学校	362	9,574	347	9,022	△ 15	△ 552
	花巻北中学校	357	5,955	390	5,542	33	△ 413
	南城中学校	261	4,921	284	5,813	23	892
	湯口中学校	318	6,479	419	8,932	101	2,453
	湯本中学校	632	10,567	768	11,614	136	1,047
	矢沢中学校	283	4,969	350	7,638	67	2,669
	宮野目中学校	302	5,326	307	4,493	5	△ 833
	西南中学校	258	6,640	213	6,544	△ 45	△ 96
	大迫中学校	213	2,534	286	3,390	73	856
	石鳥谷中学校	512	11,511	451	8,372	△ 61	△ 3,139
	東和中学校	537	9,334	376	6,667	△ 161	△ 2,667
	小計	4,035	77,810	4,191	78,027	156	217
合計	10,860	250,917	10,482	253,243	△ 378	2,326	

施設利用状況等について

1 花巻市総合文化財センター利用状況 (単位：人)

年 度	開館日数	入館者数	内 訳			
			有料入館者			免除者
			小中高生	一 般	計	
29年度	358	3,263	130	1,671	1,801	1,462
30年度	358	2,184	99	905	1,004	1,180
増 減	0	△ 1,079	△ 31	△ 766	△ 797	△ 282

2 大迫郷土文化保存伝習館利用状況 (開館期間：5月1日～10月31日) (単位：人)

年 度	開館日数	入館者数	内 訳		免除者
			小中高生	大学生・一般	
29年度	157	892	73	459	360
30年度	160	783	60	492	231
増 減	3	△ 109	△ 13	33	△ 129

3 石鳥谷農業伝承館利用状況 (単位：人)

年 度	開館日数	入館者数	内 訳			免除者
			小中学生	高校・大学生	一般	
29年度	361	1,395	3	28	267	1,097
30年度	361	1,370	4	19	264	1,083
増 減	0	△ 25	1	△ 9	△ 3	△ 14

4 花巻市博物館利用状況 (単位：人)

年 度	開館日数	入館者数	内 訳				免除者
			有料入館者			計	
			小学生 中学生	高校生 学 生	一 般		
29年度	360	13,950	573	374	9,394	10,341	3,609
30年度	353	18,072	735	443	9,436	10,614	7,458
増 減	△ 7	4,122	162	69	42	273	3,849

5 石鳥谷歴史民俗資料館利用状況 (単位：人)

年 度	開館日数	入館者数	内 訳				免除者
			有料入館者			計	
			小学生 中学生	高校生 学 生	一 般		
29年度	361	1,261	25	56	976	1,057	204
30年度	361	1,328	19	30	1,022	1,071	257
増 減	0	67	△ 6	△ 26	46	14	53

6 東和ふるさと歴史資料館利用状況 (単位：人)

年 度	開館日数	入館者数	内 訳			免除者
			有料入館者		計	
			小中高生	学生・一般		計
25年度	304	1,506	12	607	619	887
26年度	308	759	9	426	435	324
増 減	4	△ 747	△ 3	△ 181	△ 184	△ 563

(平成27年4月1日から当分の間休館)